

MI_2156 ガス弁（ホットエアーおよび蒸気） - 取り外しと取り付け



iCombiガス



15分



標準



2023/10/23

テーマ

ホットエアーおよびスチームのガス弁の取り外しと取り付けについて記載しています。

対象となる製品/アクセサリー

iCombi Pro / iCombi Classic ガス式：

- 6-1/1
- 6-2/1
- 10-1/1
- 10-2/1
- 20-1/1
- 20-2/1

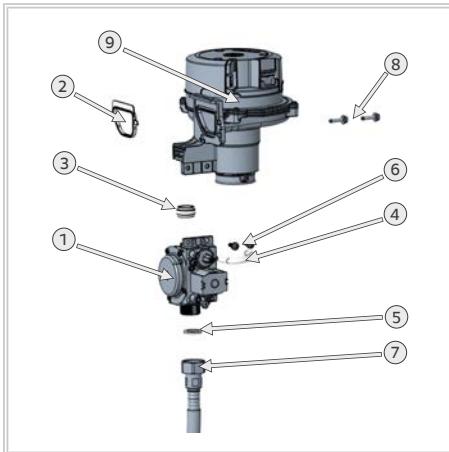
必要な工具

- 標準
- トルクスパナ フォークマウント サイズ30、25Nm
- スパナ サイズ30

必要となるコンポーネント

iCombi (ガス)	6-1/1	6-2/1	10-1/1	10-2/1	20-1/1	20-2/1
ガス弁 スチーム	87.01.838 S	87.01.838 S	87.01.838 S	87.01.839 S	87.01.839 S	87.01.839 S
ガス弁キット ホットエアード 下	87.01.838 S	87.01.839 S	87.01.838 S	87.01.839 S	87.01.838 S	87.01.839 S
ガス弁キット ホットエアード 上	無し	無し	無し	無し	87.01.838 S	87.01.839 S

No.:	ガス弁一式061-101/201 (品番: 87.01.838S) :	ガス弁一式062G/102-202G (品番: 87.01.839S) :
1	ガス弁E01 LK1 061-101G/201G- (品番: 70.01.675)	ガス弁E01 LK2 062G/102-202G- (品番: 70.01.676)
2	ガス排気のガスケット 061-202 - (品番: 70.01.148)	
3	ガス弁のガスケット E01 061-202G - (品番: 70.01.193)	
4	補償導管061-202G - (品番: 70.01.745)	
5	ガスのリングシャフトホースのガスケット 061 -202 - (品番: 70.01.622)	
6	ガス弁E01用ネジ M5x12 T25 - (品番: 10.01.902)	



一般情報

RATIONAL機器に取り付けられたガス部品には、部品製造者の文書が適用されます：

注記

使用前に、部品製造者の文書およびRATIONALの情報を必ずお読みください。

この資料はQR コードまたはリンクからアクセスできます。



図 8: QR-Code_jp

https://portal.rational-online.com/fs4p/media/service/3_dokumentationen/icombi_pro_icombi_classik/beipack/divers_1/Sicherheitshinweise-Gaskomponenten_jp.pdf

注記

サービスレベル（「コンポーネント交換」タブ）にコンポーネントの取り付けを入力します。これはメンテナンス履歴の一部です。

作業手順は、ホットエアーおよびスチームのガス弁のユニットに対して有効です。

サービス部品としてガス弁を取り付ける場合、ユニットに既に使用されているネジは使用せず、付属品パックに同梱されているネジを使用してください。

ターゲットグループ

- 本書は、トレーニングコースおよび安全に関する指導を受け、メーカーから認定と研修を受けた技術者を対象としています。
- 設置、検査、メンテナンスおよび修理作業は、訓練を受けた技術者だけが行うことができます。
- 点検、メンテナンス、修理は、メーカーから認定された技術者だけが行うことをお勧めします。
- お子様はユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ユニットは、遊ぶために使用しないでください。これは、監視のもとであっても許可されません。
- 身体的、視聴覚的、あるいは精神的な障害のある人、または経験あるいは知識が不十分な人は、ユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ただし、このグループの人々が、安全に関する責任者によって監督され、この装置の危険性を認識させられている場合は、この限りではありません。
- 事故の危険や物的損害を防止するため、メーカーは技術者が定期的にトレーニングや安全説明会に参加することを推奨しています。

安全上の指示

⚠ 危険

電源に接続する際の高圧

高電圧を扱う際には人命の危険が生じるおそれがあります。

- 電源との接続を切ってください。
- ユニットに通電されていないことを確認してください。

⚠ ご注意

本体の鋭いエッジ

作業の際に、ユニット内のボディーの鋭いエッジで切り傷を負うおそれがあります。

保護用手袋を用いてください。

注記

ガスコンポーネントの漏れ点検の際は、漏れ検知スプレーを使用しないでください。

漏れ検知スプレーは隣接するコンポーネントに損傷をきたすおそれがあります。

修正ログ

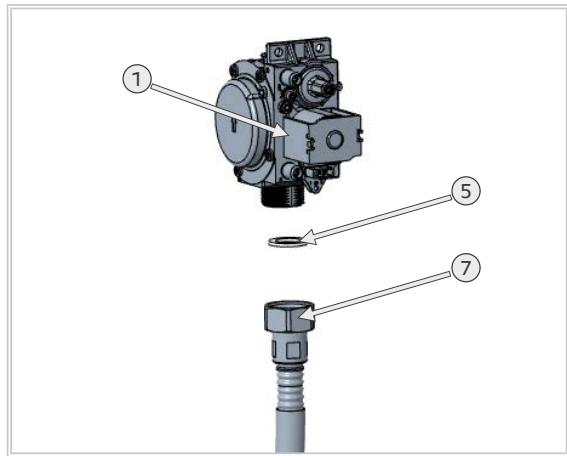
この説明書の前バージョンの変更事項:

- 納品範囲に含まれるコンポーネント - 品番の変更：補償導管一式 061-202G - (品番：70.01.745)
- 「作業ステップ - 床置き型ユニットのガスホースの取り付け」の章に、「ガスコンポーネントの漏れ点検の際は、漏れ検知スプレーを使用しないでください。漏れ検知スプレーは隣接するコンポーネントに損傷をきたすおそれがあります」という注記が追加されました。

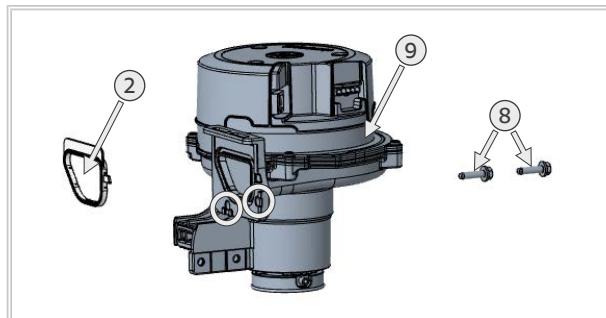
作業手順 - ホットエアーおよびスチームのガス弁の取り外し

- ✓ ユニットのスイッチが切られて、非通電状態になっている。
 - ✓ 電装部が開けられた状態です。
 - ✓ ガス送出が停止しています。
1. ガス弁 (1) とガス排気 (9) から全てのケーブルを取り外します。

2. ガス弁 (1) から黄色のガスホース (7)、ガスのリングシャフトホース のガスケット (5) を取り外します。リングシャフトホースのガスケット (ガス) (5) を廃棄します。



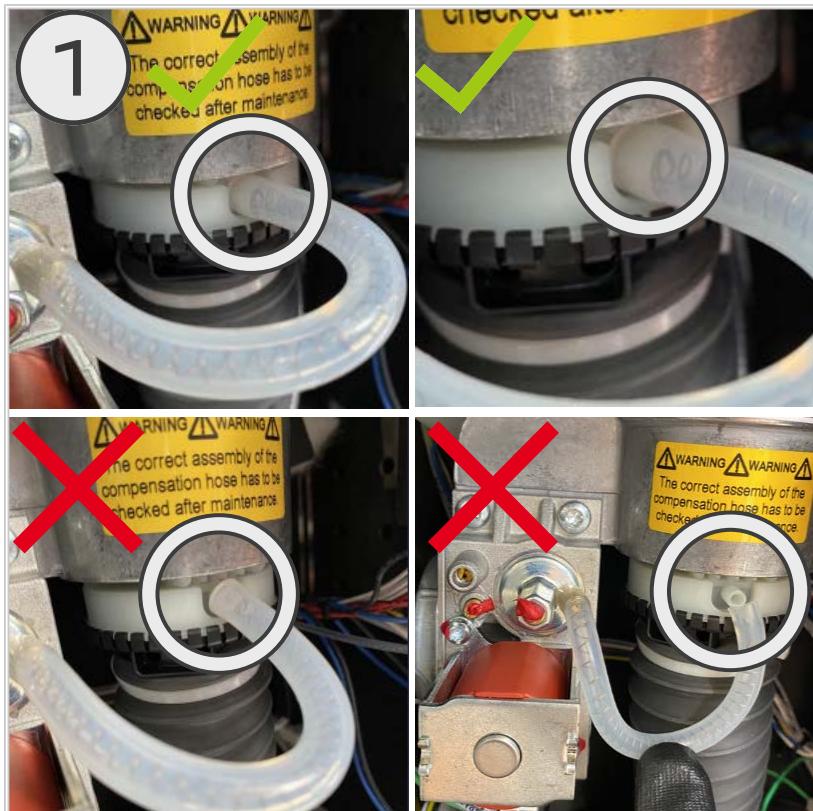
3. 注記：ガス弁のみを交換する場合、項目4に進みます。
ネジ (8) を緩めます。
ガス排気 (9) を取り外します。
ガス排気のガスケット (2) を取り外して廃棄します。



4. ガス排気の補償導管 (図1) を上下に交互に90°曲げます (図2、図3参照)。
この作業を合計5回繰り返します。

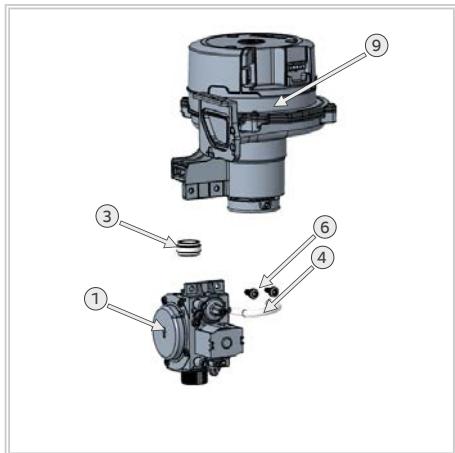


5. サポートでの補償導管の固定を確認します（図1）。
補償導管が数ミリしか滑っていない場合、あるいは完全にサポートから外れている場合は、補償導管を交換する必要があります。
注！補償導管を交換しなければならない場合、補償導管が両方のサポートに完全に押し込まれていることを確認します！



6. 試験5のテスト結果は良好：
補償導管(4)をガス弁(1)からだけ外し、送風装置（9）に接続したままにします。
ガス排気（9）にガス弁（1）を固定している2本のネジ（6）を緩めま

す。
ガス弁（1）を取り外して廃棄します。
ガス弁のガスケット（3）を取り外して廃棄します。



>> 取り外しは完了です。

作業手順 - ホットエアーおよびスチームのガス弁の取り付け

1. 取り付けは逆の順序で行います。取り付けには、新品の部品を使用してください。
2. ガスホースをガス弁（ホットエアーとスチーム）に接続するには、オーブンエンドスパナ（サイズ20）とトルクスパナ（サイズ30、25Nm）が必要です。

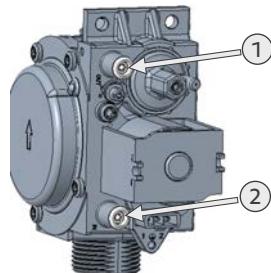
注記

ガスホースにオーブンエンドスパナを当てないでください。ナットには、オーブンエンドスパナのみを使用してください。



注記

印の付いている設定ネジ (1) と (2) は、1.2Nm (+/- 0.1Nm) のトルクでのみ締め付けることができます。
トルクが大きすぎると、弁が破損します。



3. 取り付け後、ガス漏れチェックを行ってください。
 4. 取り付け後、漏れ試験と排ガス分析を行ってください。
- 注記：**ガスコンポーネントの漏れ点検の際は、漏れ検知スプレーを使用しないでください。漏れ検知スプレーは隣接するコンポーネントに損傷をきたすおそれがあります。
- >> 取り付けは完了です。

